

明治天皇“多摩来遊”聖蹟の謎

～武蔵野大展望の丘さんぽ～

- 日 時：2017年1月25日(水)
- 集 合：京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札10:00
- 解 散：京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」15:30頃
- 参加費（資料代、保険料含む）：一般は1,000円/1人
団員700円（団員家族は2人で1,000円）
- 申 込：事前申込不要。当日現地にて受付。
- その他：飲料、雨具等、各自ご持参ください。

雨天の場合は基本的には中止。
小雨の場合、実施することもあるので、当日の朝7時30分までに下記へお問合せ下さい。

（宮田）
090-7002-3431

【内容】明治14年から17年にかけて、東京に遷都したばかりの明治天皇は、4回も多摩に兎狩りと鮎猟に来られ、また続いて昭憲皇太后、英照皇太后、北白川宮、伏見宮、有栖川宮、東久邇宮、李王殿下、大正天皇などが、昭和10年まで34回も多摩市連光寺の丘に来遊しています。

「聖蹟桜ヶ丘」の駅名の根源、江戸幕府側の新選組の支援者たちが居た「多摩」になぜこんなに新政府側の皇室関係者が来られたのか、万葉時代から「向ノ岡」と呼ばれてきた大展望の丘に立って当時に想いを馳せてみましょう。

雲が無ければ秩父丹沢連峰のみならず、日光男体山、榛名山、赤城山も見える、正月ならではの清々しいウォークです。



旧多摩聖蹟記念館（東京都多摩市連光寺）
都立桜ヶ丘公園内
多摩市HPより



【コース】（都合により変更の場合有り）

京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」西口改札に午前10時集合～一ノ宮の渡し～一ノ宮小野神社参拝～入江古道～聖蹟桜ヶ丘駅周辺で自由昼食～関戸渡し場道（奥州古道）～大栗橋と鎌倉古道～防人が歩いた古代東海道の大阪～向ノ岡（対鷗荘跡）～明治天皇御野立所跡～武蔵野大展望の夕日の丘～辻晴明坂～旧多摩聖蹟記念館～古代東海道打越山遺跡～春日神社前から路線バスまたは徒歩で聖蹟桜ヶ丘駅。約5キロM。解散は午後3時半頃。